



脳 balanser キッズ  
～ こども脳機能balanser ～

取扱説明書



## ▶ 目次

---

サポート連絡先等	3
はじめに	4
インストールと起動	5
ライセンス登録と確認について	6
初めての利用	7
利用者選択画面と管理者モードロック解除	8
管理者モード時の利用者選択画面	9
子機ライセンスとデータの共有について	10
グローバル設定とデータのバックアップ・移動	11
管理画面：共通項目	12
管理画面：記録概要	13
管理画面：タスク記録	14
管理画面：利用者の基本設定	15
管理画面：タスクモード設定	16
管理画面：タスクレベル設定	17
ほうかごアシスタントのレポート作成ツール	18
こども脳機能バランサーの特長と工夫	19
利用者による取組開始	20
メインメニュー	21
スタンプノート	22
タスク：開始画面	23
タスク：共通操作	24
タスク：結果画面	25
タスク：バランスチェック結果画面	26
全タスクの解説	27

## ▶ サポート連絡先等

---

### サポート窓口：株式会社ネットアーツ

---

ライセンスやアプリケーションの動作に関するお問い合わせは ...

お問合せフォーム      <https://www.ledex-balancer.net/formmail/>

お申込フォーム      <https://www.ledex-balancer.net/form/>

電話番号      052 - 339 - 1222 (9:00 ~ 18:00 土日祝年末年始休)

### 開発元：レデックス株式会社

---

URL      <http://www.ledex.co.jp/>

メール      [info@ledex.co.jp](mailto:info@ledex.co.jp)

電話      042 - 799 - 0269 (10:00 ~ 18:00 土日祝年末年始休)

FAX      042 - 799 - 0741

## ▶ はじめに

この度は「脳バランス キッズ」をご利用いただきまして誠にありがとうございます。  
本サービスをご利用いただくにあたり、本説明書をよくお読みの上、ぜひすべての機能をご活用いただけますよう、お願い申し上げます。

### はじめに

本サービスの主なコンテンツである「こども脳機能バランス」は、文字が読めない子どもでもひとりで使えるよう設計しています。  
ただし、まわりの保護者や教諭、医師の「ほめ」や「適切なはげまし」によって、取り組みの効果や意欲は、確実に高まります。ぜひ、子どもたちの良いところを見つけてほめてあげてください。そして、子どもたちの話に耳を傾け、一緒に喜んだり、残念がったりして、見守っていただければ幸いです。

### 「脳バランス キッズ」に含まれる機能

「脳バランス キッズ」には、下記のコンテンツ・機能が含まれています。  
(一部機能はオプションとなっております)

### こども脳機能バランス Pro

脳バランス キッズのメインコンテンツです。クマの「ランス」といっしょに、楽しい13のタスクにトライすることで、子どもたちの認知機能をチェック・トレーニングします。

### 管理者機能

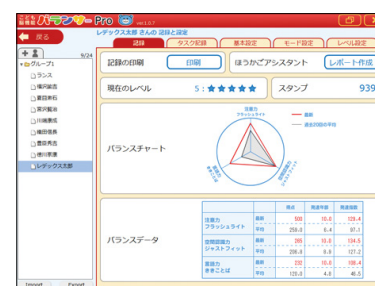
「こども脳機能バランス」利用者の登録・削除や設定、利用記録の参照や印刷等、先生や保護者が、こども脳機能バランスの利用をサポートするための機能です。

### 個別支援サービス「ほうかごアシスタント」(※オプション)

施設の担当者様が、個別支援計画を立てるためのヒントをまとめたガイドブックと、保護者向けに子どもたちの活動を報告するための、「レポート」づくりサポートツールを提供します。PDFの「作成ガイド」もあわせてご活用ください。

### 子機オプションと人数追加オプション

子機オプションを追加することで、「こども脳機能バランス Pro」のデータを、基本ライセンスの環境と同一LAN内にある複数台のPCで共有してお使いいただくことができます。また、基本セットの登録利用者は24名です。追加オプションにより、24名単位で、最大240名まで増やすことができます。



# ▶ インストールと起動

脳バランサー キッズは、Windows PC にインストールしてからお使いいただく必要があります。ここでは、インストーラーの操作方法について説明します。

## インストール方法

インストーラーを起動すると、「セットアップウィザードへようこそ」と書かれたスタート画面が表示されます。「脳バランサー キッズ」のインストーラーであることを確認し、「次へ」ボタンを押します。

## インストール先フォルダの選択

デフォルトのインストール先は、Program Files 内ですが、それを変更することができます。特に変更する必要が無い場合には、デフォルトのまま「次へ」ボタンを押します。

## ショートカットの確認

脳バランサー キッズは、デフォルトで、スタートメニューとデスクトップにショートカットを作成する設定になっています。ショートカットが必要ない場合はチェックを外してください。通常はそのまま「次へ」ボタンを押します。

## インストール内容の確認

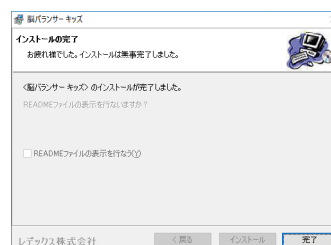
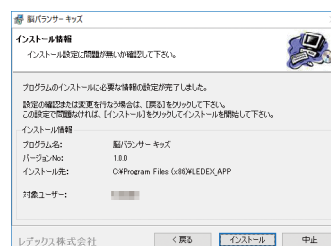
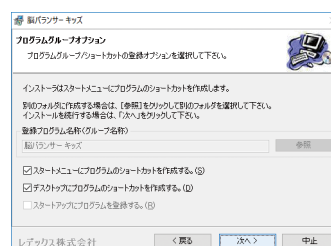
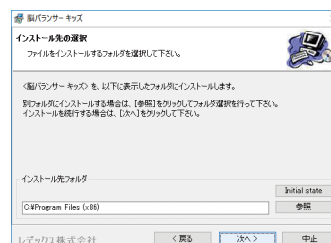
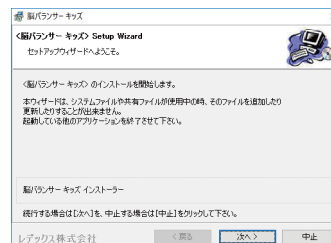
インストール内容を最終確認し、「インストール」を押します。インストール中は、進行画面が表示されます。数十秒～数分かかる場合もありますので、しばらくお待ちください。

## インストールの完了

これでインストールは完了です。「完了」ボタンを押し、インストーラーを終了させてください。

## 脳バランサー キッズの起動

デスクトップに作られたショートカットをダブルクリックするか、スタートメニューから「脳バランサー キッズ」を選択して、早速起動してみましょう！



## ▶ ライセンス登録と確認について

脳バランサー キッズは、毎回起動時にライセンスサーバに接続し、ライセンスの確認を行います。ここではライセンスの確認と、初期のライセンス登録に関する一連の操作について説明します。必ずインターネットに接続された環境でご利用ください。

### 初期ライセンス登録

初めて脳バランサー キッズを起動すると、ライセンスの入力画面が表示されます。正しくライセンスキーを入力し、「送信」ボタンを押します。ライセンスキーは、4文字（英大文字1文字と数字3桁）×4セットで構成されています（例：Z999-Z999-Z999-Z999）。



### 毎回起動時のライセンス確認

すでにライセンス登録が完了している環境では、脳バランサー キッズを起動するたび、ライセンスサーバに接続して自動的に確認を行います。特に問題がない場合には、ほとんど待ち時間なく利用開始できます。

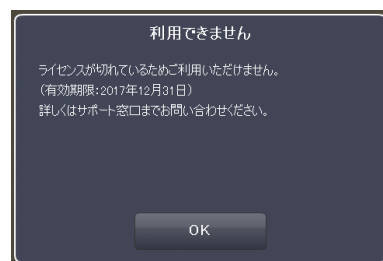
### ライセンス登録・確認時のエラーについて

#### ライセンスキーが正しくない場合

ライセンスの登録時、入力したライセンスキーが正しくないと、その旨赤いメッセージが表示されます。よく確認して正しいライセンスキーを入力し直してください。

#### ライセンスが切れている場合

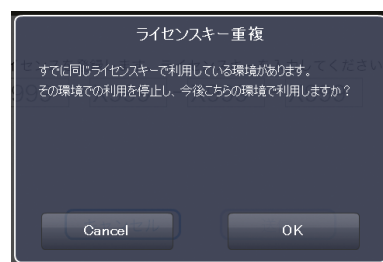
契約ライセンス期間が終了すると、ライセンス確認時に、「利用できません」というエラーメッセージが表示されます。継続してご利用いただくには、新たにライセンスをご購入の上利用登録を行うか、サポート窓口までお問い合わせください。



#### ライセンスキー重複

同じライセンスキーが別の環境で利用されている場合、「ライセンスキー重複」というメッセージが表示されます。PCの買い替えや環境の移行等のために、新しい環境にライセンスを入力し直した際にも表示されますので、その場合にはダイアログボックスで「OK」を押して継続してください。

本メッセージにお心当たりが無い場合、第三者によるライセンス不正利用の可能性もありますので、サポート窓口までお問い合わせください。

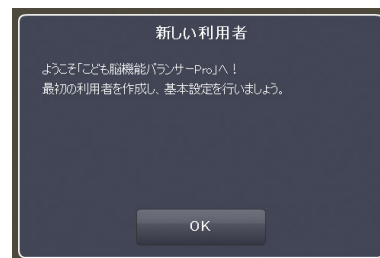


## ▶ 初めての利用

ライセンスの登録が完了した後、初めて「こども脳機能バランサー」を利用する際の操作方法や、各機能について説明します。初めて利用する際、自動的に最初の利用者が作成されますので、まずは最初の利用者のニックネームや生年月日を設定しましょう。

### 新しい利用者ダイアログボックス

初めて利用する際、「新しい利用者」のダイアログボックスが表示されます。「OK」を押して、最初の利用者を登録しましょう。このダイアログボックスは利用者の削除等によって登録利用者がなくなった場合にも表示されます。

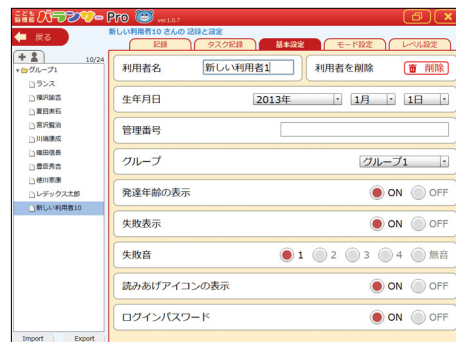


### 新しい利用者の登録画面

上のダイアログボックスで「OK」を押すと、利用者の登録画面になります。すでに「新しい利用者」という名前の利用者が自動的に登録された状態で画面が開きます。利用者名（ニックネーム）と生年月日を正しく入力します。

画面左の「+」と人型のアイコンを押すと、続けて利用者を登録することができます。

利用者の登録が完了したら、画面左上の「戻る」ボタンを押します。



### こども脳機能バランサーの利用を開始

利用者を登録して戻ると、利用者選択画面が表示されます。

利用者選択画面は、普段こども脳機能バランサーを利用するときに最初に表示される画面で、各機能への入り口となります。

利用者選択画面で、登録された利用者の名札を選び、利用を開始します。

## ▶ 利用者選択画面と管理者モードロック解除

こども脳機能バランサーを起動し、ライセンスの確認が完了すると、利用者選択画面になります。脳バランサー キッズの全ての機能は、この画面から展開します。利用者の追加・削除や記録の参照等の管理者向けの機能へもこの画面から移行します。

表示するグループを切り替えます。利用者は10個のグループに割り振ることができます。

ウィンドウ表示とフルスクリーン表示を切り替えます。

アプリケーションを終了させます。

お試し利用者として、記録を保存せずに利用を開始できる、トライアル機能です。

利用者の名札です。利用を開始するには、「スタート」ボタンを押します。

通常の利用者選択画面

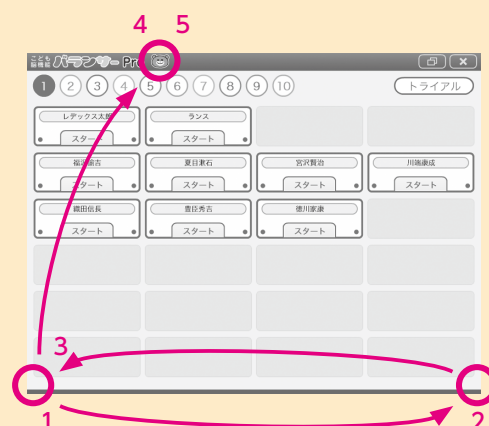
### 管理者機能のロック解除方法

いたずらや誤操作を防ぐため、管理者機能の表示にはロックがかかっており、特定のパターンで画面上をクリック(タッチ)することで管理者モードに入ることができます。

#### クリックの順番と場所

管理者機能のロックを解除するには、利用者選択画面で、下記の順番で下記の場所をクリックします。ロックの解除に成功すると、画面上部に管理者機能ボタンが表示されます。

1. 画面左下端
2. 画面右下端
3. 画面左下端
4. 上部クマの顔アイコン
5. 上部クマの顔アイコン



うまくその場所をクリックできると「ポン」という音が出ます。やや低い音が出る場合、場所かクリックの順番が違いますのでやりなおしてください。パソコンによっては位置が左右にずれ場合がありますので、「ポン」の出る場所をさがしてください。

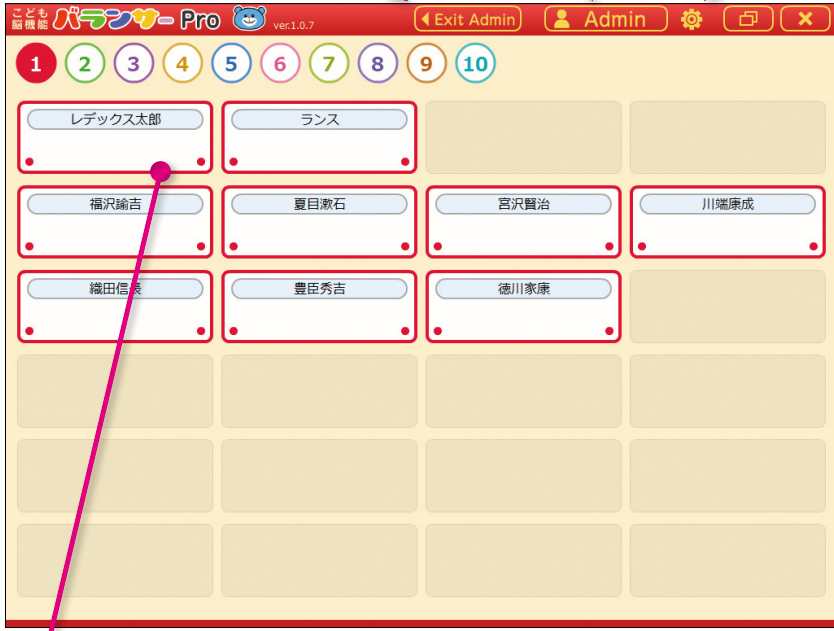
## ▶ 管理者モード時の利用者選択画面

管理者モードに入ると、利用者選択画面が通常利用時とは異なった表示になります。  
ここでは、管理者モード時の利用者選択画面について説明します。

管理者モードを抜け、通常利用時の利用者選択画面に戻ります。

管理画面に移動します。  
子機ライセンスの端末では表示されません。

グローバル設定画面（データ保存場所の変更等）を開きます。  
※ここに、！マークが表示されている場合は、プログラムのアップデートが用意されています。クリックして指示に従い、新しい脳 balanser キッズにアップデートしましょう。



管理者モード時の利用者選択画面

利用者の名札をドラッグして、別の位置に移動させることができます。  
他のグループに移動させる場合には、ドラッグした名札をグループ番号の上にドロップします。



## ▶ 子機ライセンスとデータの共有について

脳バランサー キッズでは、基本セットに加えて、同じ利用者データを LAN 上で共有して、複数の PC でお使いいただくための子機ライセンスオプションを用意しています。ここでは子機ライセンスとデータの共有方法について説明します。

### 基本セットと子機オプション

基本セットのライセンスには、「管理者機能」と「利用者 24 名登録」の内容が含まれています。利用者の登録や削除は、基本セットのライセンスをインストールした PC から行います。一方で、子機ライセンスをインストールした PC には、「管理者機能」がありません。したがって、子機ライセンスの PC から利用者の追加や削除、記録の参照といった機能を使うことはできません。

そのため、子機ライセンスの PC では、基本セットの PC を親機とし、親機が作成する利用者データを共有し参照する必要があります。まとめると、下記のとおりとなります。

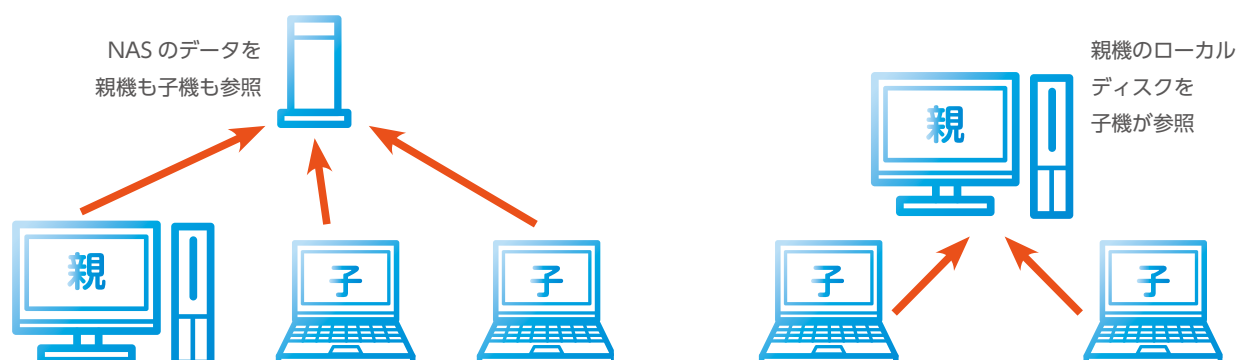
- 子機では、成績参照、利用者の追加削除といった管理機能が利用できない
- 子機は、親機が作成した利用者データを LAN 内で共有する必要がある

### 一般的なデータの共有方法

一般的には、下記の 2 つの方法で、データを共有します。

- LAN 内の NAS（ネットワーク接続ディスク）に利用者データを置いて共有し全員で参照する方法
- 親機のローカルディスク内の利用者データ領域を LAN 内で共有し子機から参照する方法

親機のディスクを共有する場合、親機を立ち上げてから子機の電源を入れてください。データ保存フォルダに設定したパスが不正な場合には、デフォルトのローカル保存フォルダが使用されます。もし、表示されるべき利用者が表示されない場合は、その PC の管理モードで、データ保存フォルダの設定をやり直してください。



## ▶ グローバル設定とデータのバックアップ・移動

グローバル設定画面では、データ保存フォルダの変更やライセンスコードの確認を行うことができます。グローバル設定画面は管理者モードから開くことができます。

利用者データが保存されるフォルダを変更します。変更するには「選択」ボタンを押してフォルダを指定します。  
親機側では、NAS 上のフォルダや、LAN に共有している自機のデータ共有フォルダ等を指定します。  
子機側では、NAS 上のフォルダや、共有されている親機のフォルダを指定します。  
データ保存フォルダの指定を変更すると、アプリケーションは終了しますので、再度起動し直してください。

「最新版をダウンロード」と表示されている場合は、クリックして指示に従い、新しい脳パラランサーキッズにアップデートしましょう。

保存フォルダをデフォルトのローカルフォルダに戻します。

ライセンスコードと、その種類、有効期限、上限利用者数等を表示します。

お使いの PC のライセンス情報を削除し初期化します。  
PC の買い替えや、親機と子機のライセンスの入れ替え等、お使いの PC のライセンスを切り替えたい場合に利用します。

変更内容を破棄し、グローバル設定画面を閉じます。

変更内容を保存します。  
データ保存フォルダを保存した場合、アプリケーションが終了します。

### 保存データのバックアップ・移動

#### 初期保存データフォルダ

デフォルトでは、データ保存フォルダはローカルディスクの下記のフォルダに設定されています。

ドキュメント > LEDEX > cb002pro2  
(C:\Users\%(ユーザー名)\Documents\LEDEX\cb002pro2)

#### 保存データのバックアップ

デフォルトの保存フォルダを使っている場合、上記の「cb002pro2」フォルダを、定期的に USB メモリ等にコピーすることで、万が一のためにデータをバックアップ（退避）させておくことができます。

#### PC 買い替えや故障時のデータの移動

デフォルトの保存フォルダを使っている場合、それまで使用していた PC から、左記の「cb002pro2」フォルダを、USB メモリ等にコピーしておきます。

次に新しい PC の同じ場所（ドキュメント > LEDEX）に、USB からフォルダごとコピーすれば、新しい PC でもそれまでの利用者データをお使いいただくことができます。

## ▶ 管理画面：共通項目

管理画面では、利用者の記録の参照、利用者の設定等を行うことができます。ここでは、それら全ての機能に共通した、管理画面の画面要素について説明します。

The screenshot shows the management interface for 'こども脳機能パランサー-Pro'. At the top, it displays '登録されている利用者数と、登録可能利用者数（上限値）を表示しています。' (8/24). Below this is a list of groups under 'グループ1', with 'レデックス太郎' selected. The list includes: ランス, 夏目漱石, 福沢諭吉, 宮沢賢治, 豊臣秀吉, 織田信長, 徳川家康, and 川端康成. On the right, there are buttons for '記録', '現在', and 'バラ'. At the bottom, there are 'Import' and 'Export' buttons.

利用者はグループに分類されます。グループ名の左にある三角形アイコンをクリックすると、グループのフォルダ表示を、折りたたんだり展開したりすることができます。一人も利用者が登録されていないグループは、このリストには表示されません。

新しい利用者を追加します。

利用者が登録されているグループを選択すると、そのグループの利用者一覧が表示されます。設定や記録の参照をしようとする利用者を選び、その名前をクリックします。

登録されている利用者数と、登録可能利用者数（上限値）を表示しています。

選択されている利用者

利用者の一覧です。設定や記録の参照をしようとする利用者を選び、その名前をクリックします。

Import

Export


Exportした利用者データを取り込み、新しい利用者として登録します。

選択している利用者データをファイルとして書き出します。

## ▶ 管理画面：記録概要

記録の概要画面では、利用者の現在の力やそのバランスを総合的に確認することができます。印刷機能や、「ほうかごアシスタント」オプションのレポート作成ツールもこの画面から起動します。

記録を印刷するための、プレビュー画面を開きます。



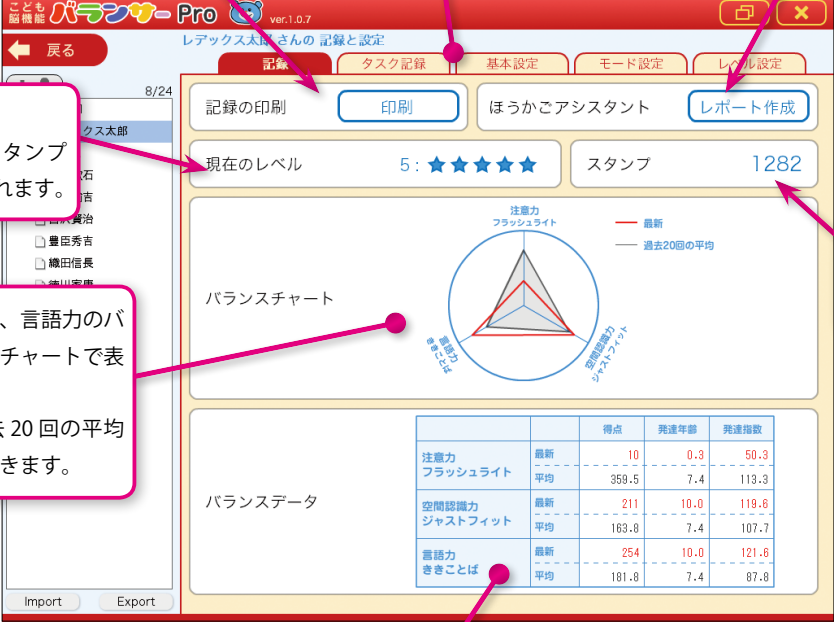
タブで表示画面を切り替えます。

レポート作成ツールを起動します。  
ライセンスにほうかごアシスタントオプションが付加されていない場合には、表示されません。

現在のレベルです。  
利用者が獲得したスタンプの数によって決定されます。

注意力、空間認識力、言語力のバランスを、バランスチャートで表します。  
最新の記録と、過去20回の平均を比較することができます。

利用者が獲得したスタンプの数。



The screenshot shows a software interface with a red header and a navigation bar. The main content area is divided into several sections:

- Navigation:** タブ (Records, Task Records, Basic Settings, Mode Settings, Level Settings)
- Actions:** 記録の印刷 (Print), ほうかごアシスタント (ほうかごアシスタント), レポート作成 (Report Creation)
- Current Level:** 現在のレベル 5: ★★★★★
- Stamps:** スタンプ 1282
- Balance Chart:** バランスチャート (A 3D radar chart comparing '最新' (Latest) and '過去20回の平均' (Average of last 20 times) for '注意力フラッシュライト' (Attention Flashlight), '空間認識力ジャストフィット' (Spatial Recognition Just Fit), and '言語力ききことば' (Language Listening Words).)
- Balance Data Table:**

		得点	発達年齢	発達指数
注意力 フラッシュライト	最新	10	0.3	50.3
	平均	359.5	7.4	113.3
空間認識力 ジャストフィット	最新	211	10.0	119.6
	平均	163.8	7.4	107.7
言語力 ききことば	最新	254	10.0	121.6
	平均	181.8	7.4	87.8

注意力、空間認識力、言語力の記録を数値で表します。  
それぞれの力は、フラッシュライト、ジャストフィット、ききことばのタスクの記録に対応しています。

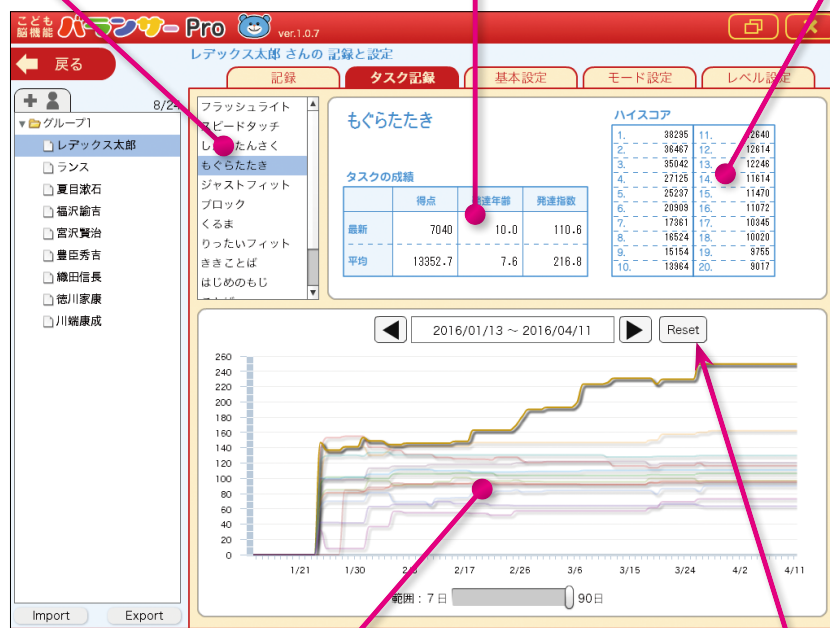
## ▶ 管理画面：タスク記録

タスク記録画面では、タスク別に詳しい記録を参照することができます。現在の状態のみならず、記録の推移をグラフで確認したり、ハイスコアを確認したりすることも可能です。

記録を表示するタスクを、リストから選びます。

現在の力（最新 20 回分の平均値）と、最新の記録を表示します。

これまで獲得した最高点をベスト 20 まで表示します。



記録の推移をグラフで表示します。  
グラフのスケールは、7日、30日、90日から選ぶことができ、表示期間も変更可能です。

グラフの表示期間とスケールを初期状態に戻します。

## ▶ 管理画面：利用者の基本設定

基本設定画面では、利用者のニックネームや生年月日等の情報や、各種設定を行います。利用者の好みや特性に合わせて設定してください。

利用者の生年月日。  
「子ども脳機能バランサー」の指数は年齢によって基準点が異なります。また、各利用者はログインパスワードの代わりに誕生日を入力します。そのため、生年月日は正確に入力してください。

利用者の名前やニックネーム。  
最大 20 文字まで入力できます。

選択している利用者を削除します。

出席番号やカルテ番号等、ニックネームのほかに利用者を識別するコードを入力することができます。  
管理番号は、記録の印刷フォーマットに印刷されます。

タスク後に表示される「詳しいデータ」や、「バランスチェック結果画面」で、発達年齢を表示するかどうか選択できます。

誤答時に「ざんねん」等の失敗表示をするかしないか選択できます。

言語系タスクで、課題等の音声を再生し直す「読み上げアイコン」の表示の有無を選択できます。  
このアイコンのせいで気が散って集中できないといったケースで OFF にします。

利用者がメインメニューにログインする際に、パスワードとして誕生日を入力するかしないか選択できます。

誤答時の効果音を選択できます。  
無音に設定することも可能です。

利用者のグループを確認・変更できます。

利用者を削除

削除

利用者名 レデックス太郎

生年月日 2004年 9月 25日

管理番号 LEDEX0001

グループ グループ1

発達年齢の表示  ON  OFF

失敗表示  ON  OFF

失敗音  1  2  3  4  無音

読み上げアイコンの表示  ON  OFF

ログインパスワード  ON  OFF

## ▶ 管理画面：タスクモード設定

タスクモード設定画面では、ノーマル/セレクトの2種類から、タスクに取り組む際のモードを設定します。ここではタスクモードについて説明します。

### ノーマルモード

ノーマルモードでは、はじめにできるタスクは、「フラッシュライト」「ジャストフィット」「ききことば」の3つしかありません。

しかし、タスクの記録に応じて獲得できるスタンプを集めることで、取り組むことができるタスクが徐々に増えていきます。

そのため、ノーマルモードの利用者は達成感を得ることで、意欲と継続性の向上が期待できます。

定期的に、比較的長い期間取り組むような場合には、ノーマルモードでの利用をおすすめします。

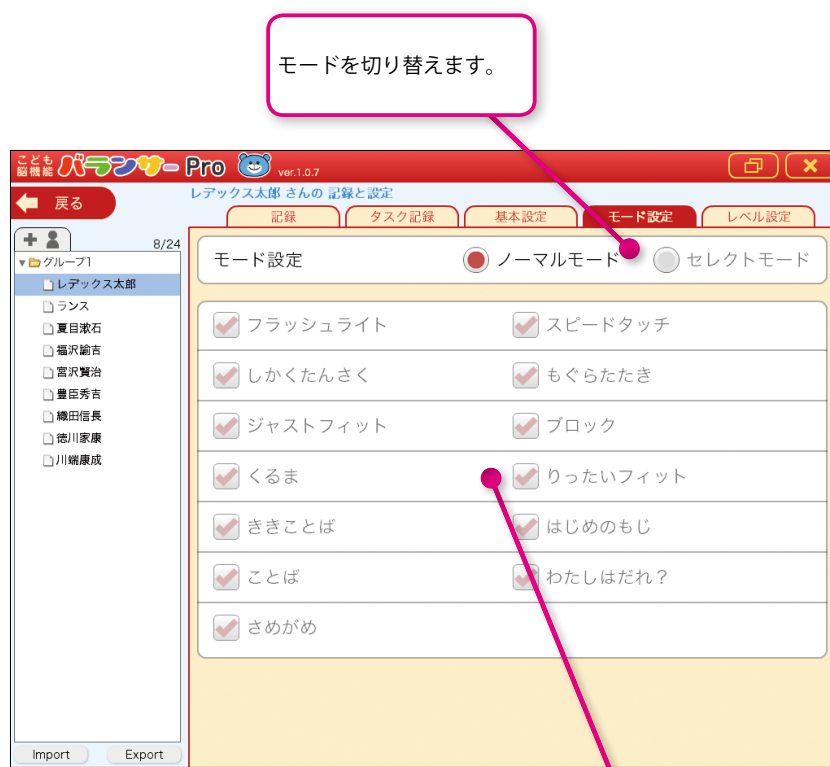
### セレクトモード

セレクトモードは、選択したタスクがはじめからすべてできるようになるモードです。

一部のタスクをはじめから取り組ませたい場合や、逆に一部のタスクを表示しないようにしたい場合には、セレクトモードを選択します。

セレクトモードを選ぶと、タスク名のチェックボックスが有効になり、必要に応じてタスクの表示を選択することができます。

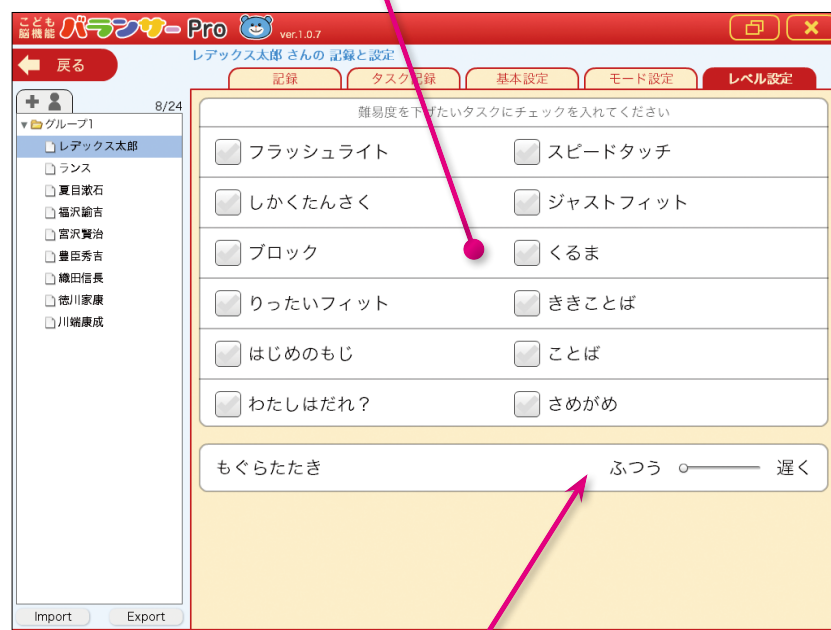
ただし、バランスチェックに用いられる「フラッシュライト」「ジャストフィット」「ききことば」の3つのタスクのチェックを外すことはできません。



## ▶ 管理画面：タスクレベル設定

こども脳機能バランサーのタスクは、比較的どなたでも取り組みやすいように設計されていますが、低年齢であったり、特定のタスクがにがてな場合タスクの難易度を下げることができます。

難易度を下げたいタスクに、チェックを入れます。  
タスクによって異なりますが、難易度を下げると成功率や正解率はアップしますが、高得点は狙いにくくなります。  
また難易度を下げた状態の「指数」は参考値となります。



「もぐらたたき」は、モグラの出現頻度やスピードを3段階で調整できます。  
コントローラーをスライドさせて調整してください。

## ▶ ほうかごアシスタントのレポート作成ツール

グラフと表で、子どもの発達の状況を保護者に的確に伝えるレポート作成をサポートするツールを、ほうかごアシスタントオプションとして追加することができます。グラフや表は、こども脳機能バランサーの記録から自動的に算出された値が描画されます。

The screenshot shows the 'ほうかごアシスタント' report creation tool interface. The main window displays a report for 'レデックス太郎 (記録期間: 2016/1/24 ~ 2017/4/26)'. The interface includes a sidebar for '新規レポート作成' and '保存されたレポート', a central area for 'レポート名' and '表示利用者名', and a table comparing data for '2016/4/26' and '2017/4/26'. The table shows values for '前頭前野' (抑制, ワーキングメモリ, 非運動性注意, 運動性注意), '左脳' (語彙(詞), 語彙(舞), 分類), and '右脳' (文法, 2次元把握, 3次元把握, 数, 身体協応). Below the table are three comment boxes for '前頭前野・左脳・右脳の3カテゴリー' (抑制, ワーキングメモリ, 運動性注意), '言語領域 (左脳)' (語彙(舞), 文法), and '空間認識・運動領域 (右脳)' (2次元把握, 身体協応). Callout boxes provide detailed instructions for each part of the interface.

Callout boxes explain the following features:

- 選択した利用者の、これまでに作成して保存されたレポートが一覧で表示されます。
- 新しいレポートの作成を開始します。
- レポートの基本情報を設定するセクションです。シート名や記録を比較する日時を選択します。
- レポートの保存や印刷に関する操作ボタン一式。
- 実際に印刷されるレポートの見本。
- 前頭前野・左脳・右脳の3カテゴリーに分けた、レポート入力エリア。入力内容がそのまま印刷シートに反映されます。
- レポート基本設定で選択した日付の記録の値と、変化を矢印で表示。

※ レポート作成ツールの詳しい使い方や、活用のヒントは、PDFの「ほうかごアシスタントガイドブック」をご参照ください。

※ 製本された冊子も有償にてご用意していますので、ご希望の方はサポート窓口までお問い合わせください。

## ▶ こども脳機能バランスーの特長と工夫

こども脳機能バランスーには、子ども一人ひとりの個性にできるだけ寄り添い、できる限り使いやすく、さらにわかりやすくフェアな判定や評価を行うための仕組みや工夫を搭載しました。ここではそれらの特長について説明します。

### 得点と指数

各タスクはゲームの特性に応じて、それぞれ独自の点数基準を持っています。あるタスクでは150点程度で「大変良い成績」であるのに対して、別のタスクでは1000点でも「まあまあ」というケースがあります。

得点はタスクによって異なりますが、多くは正答率と回答時間に基づいて決定されます。

本ソフトの表示では、タスク同士の比較ができるようにそれぞれのタスクごとに点数を標準化し、発達指数を算出して、点数と合わせて表示しています。100が発達指数の平均値です。

発達指数を計算するための標準点は、年齢ごとの平均データから算定しており、成長に応じて徐々に標準点は上がっていきます。したがって、年齢が上がると、全く同じスコアでも発達指数が下がります。

### 発達年齢

発達指数を計算するための各タスクの標準点から、発達年齢を算出します。

発達年齢は、現在の年齢に左右されずタスクのスコアから計算し、0歳～10歳までの年齢で表示します。スコアが優秀で10歳の標準点を超える成績の場合は、「10.0」もしくは「10歳以上」と表示されます。

自己肯定感を持つことが、認知機能全般を伸ばすことと大きな関連があります。弱点を探すのではなく、得意な分野を1つでも多く見つけて、ほめてあげましょう。

### 一人ひとり異なる個性への対応

脳バランスーキッズでは、利用者一人ひとりの個性にできる限り対応するための工夫を搭載しています。

下記を参考に、利用状態や好みに応じて、利用者設定等を随時見直してみましょう。

#### 難易度

低年齢であったり、特定のタスクがにがてな場合、タスクごとに難易度を下げる設定をすることができます。また、もぐらたたきがにがてな場合は、スピードを3段階で調整できます。

#### 個人情報等への配慮

多人数が自由に使える環境の場合は、パスワード設定をオンにします。その場合、パスワードはお子様の誕生の月と日を入力します。また、自分の発達年齢を知らせたくない場合は、子どもに見える画面に表示しないようにする設定が可能です。

#### 文字理解の不足や聴覚優位、あるいは、注意過敏

読み上げ音声や表示文を音で繰り返し聞きたい場合は、読み上げアイコン（※詳細 P15 参照）を押します。取り組む時に読み上げアイコンが気になってしまう場合は、読み上げアイコンの表示を消すことができます。

#### 聴覚過敏やプレッシャー

失敗音に過剰に反応したりする場合は、失敗音を消したり、4種類の音の中から好みの音に変更することができます。

※ 具体的な設定は、管理画面をご覧ください。

## ▶ 利用者による取組開始

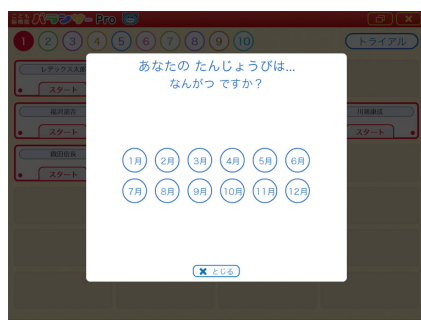
利用者選択画面で名札を選び、スタートボタンを押して利用を開始します。利用開始前に、ログインパスワード（誕生日）の入力と、言語（日本語／英語）の選択を行います。

### ログインパスワードの入力

パスワードとして、自分の誕生日（月と日）を入力します。まず誕生月のボタンを押し、次に日のボタンを押します。

間違ってしまった場合は、利用者選択画面に戻ります。

また、選択した利用者が間違っていたり、誕生月の入力を間違ったりした場合には、画面下の「とじる」ボタンを押すことで、利用者選択画面に戻ります。



誕生月の入力



誕生日の入力

### 言語の選択

「日本語」と「英語」から、利用する言語を選んでクリックします。

英語を選択すると、ナレーションや表示がすべて英語になります。



## ▶ メインメニュー

利用者の取り組みは、すべてメインメニューから始まります。  
ここでは、メインメニューの要素と機能について説明します。



### バランスチェックとおすすめタスク

#### バランスチェック

バランスチェックは、「ききことば」「フラッシュライト」「ジャストフィット」の3つのタスクに連続して取り組みます。それぞれ「言語力」「注意力」「空間認識力」を確認する基本的なタスクです。これらの結果は、直後にバランスチャートとしてグラフ表示され、利用者の認知能力のバランスを確認することができます。バランスチェックを週に何度か行うようにすると、利用者の認知機能の推移を知ることができます。

#### おすすめタスク

おすすめタスクは、本ソフトに組み込まれた、おすすめタスク選定システムが利用者ごとの取り組み結果に基づいて選んだ、2つのタスクです。「おすすめタスク」ボタンを押すと、この2つのタスクが連続して実行されます。また、メインメニューで一定時間何もせずにいると、ランスが勝手にタスクを選択する演出が始まります。この時にランスが選択するタスクも、おすすめタスクの選定システムが選んでいます。

## ▶ スタンプノート

タスクに取り組むと、その結果に応じてスタンプが付与されます。ノーマルモードでは、獲得したスタンプの数によってできるタスクが増えていきます。スタンプノートでは、獲得したスタンプを確認することができます。



### スタンプとレベル

タスクに取り組むと、結果に応じて最大5枚までのスタンプがもらえます。獲得したスタンプは、スタンプノートに貯まります。一定の枚数までスタンプが貯まるとレベルアップし、ノーマルモードの利用者は、「?」マークが変化して、取り組めるタスクが増えていきます。

獲得したスタンプの枚数や、レベルアップに必要な枚数を調べるには、スタンプノートを参照します。

レベルは、メインメニューの中央に星として表示されます。

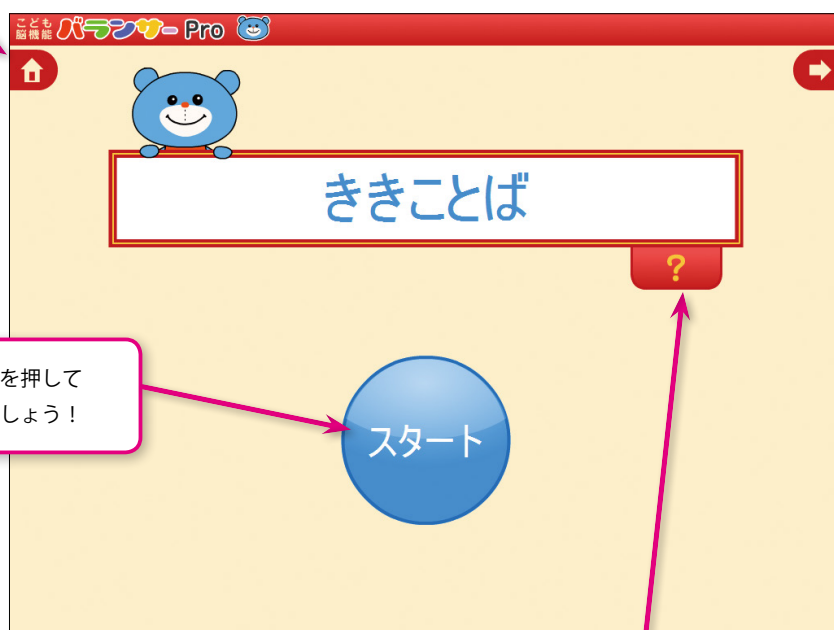
## ▶ タスク：開始画面

メインメニューでタスクを選んだり、バランスチェックを選んだりすると、タスクの開始画面が表示されます。ここではすべてのタスクに共通する、タスク開始画面の操作と機能を説明します。

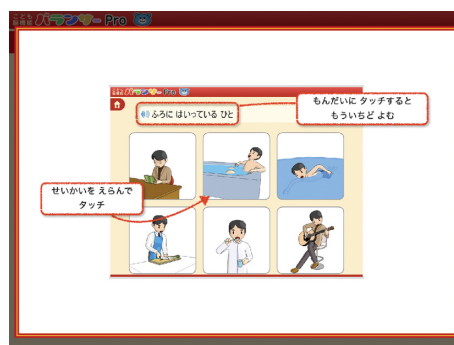
タスクを中断して、メインメニューに戻ります。

「バランスチェック」「おすすめタスク」をしている途中で、今やっているタスクだけを終了して、次に進みます。

スタートボタンを押してタスクを始めましょう！



「？」ボタンを押すと、音声と画像で、このタスクのルールや操作方法を簡単に説明します。説明画面は2ページになっていることもあります。説明画面を閉じるには、画面のどこかをクリックします。



## ▶ タスク：共通操作

各タスクはそれぞれルールや操作方法が異なりますが、ここではすべてのタスクに共通する機能や表示について説明します。

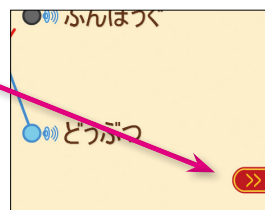
タスクを中断して、メインメニューに戻ります。  
バランスチェックやおすすめタスクの場合は、続くすべてのタスクがキャンセルされます。

「バランスチェック」「おすすめタスク」をしている途中で、今やっているタスクだけを終了して、次に進みます。

読み上げアイコンを押すと、文字の表示や問題の文章を、音声で読み上げます。



一部のタスクでは、ステージスキップボタンが画面右下に表示され、これを押すことで、その問題だけスキップすることができます。



## ▶ タスク：結果画面

タスクをひとつ終了すると、結果画面が表示されます。結果画面では、今回の記録を総合的に参照することができます。ここでは結果画面の操作と機能について説明します。

ハイスコアトップ 20 を表示

詳しいデータを表示

ハイスコアにランクインすると、「やったね」という吹き出しが表示されます。

今回のタスクの点数

今回獲得したスタンプ

もう一度同じタスクに取り組みます。「バランスチェック」「おすすめタスク」をしている途中には表示されません。

次に進みます。

てんすうとスタンプ

ハイスコア

やったね

てんすう : 000**331**

今回獲得したスタンプ

もういちど

すすむ

点数とスタンプ

点数とスタンプを表示

これまでのハイスコア一覧を、上位 20 位まで表示します。今回獲得したスコア部分は赤色で強調表示されます。

ハイスコア トップ 20

1.	331	11.	220
2.	325	12.	208
3.	322	13.	201
4.	303	14.	190
5.	299	15.	173
6.	244	16.	166
7.	236	17.	165
8.	234	18.	149
9.	233	19.	147
10.	225	20.	143

もういちど

すすむ

ハイスコアトップ 20

今回の結果の発達指数と発達年齢を表示します。

今回の結果の発達指数を、グラフページで表示します。実年齢の目標点を獲得すると、中央の 100 付近になります。

発達指数

発達年齢：10才以上

点数：331

スタンプ：5

もういちど

すすむ

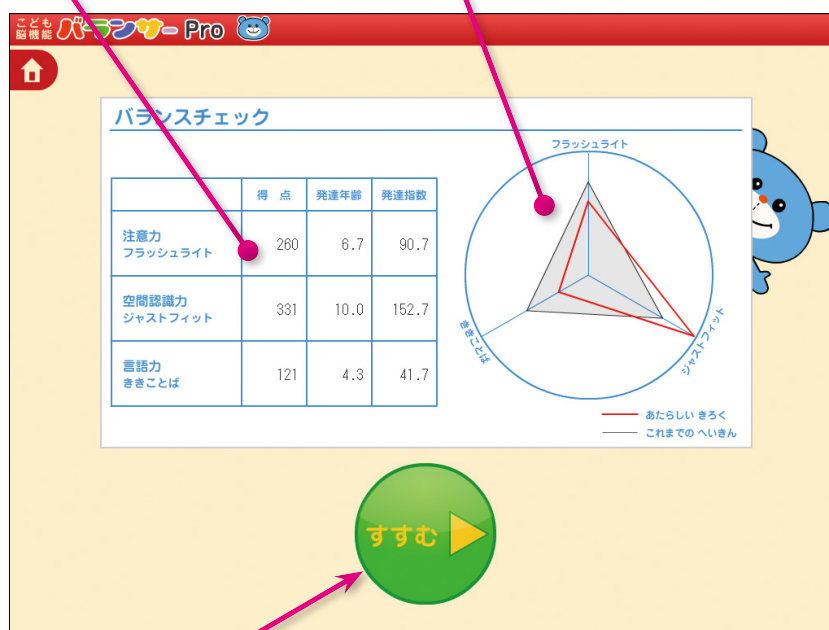
詳しいデータ

## ▶ タスク：バランスチェック結果画面

バランスチェックの3つのタスクがすべて終了すると、バランスチェック結果画面が表示されます。ここではその表示内容について説明します。

今回のバランスチェックの結果として、各タスクの得点、発達年齢、発達指数が表示されます。

バランスをレーダーチャートで確認。ここ最近の平均と、今回の結果を比較することができます。



メインメニューに戻ります。

## ▶ 全タスクの解説

こども脳機能バランスには、13種類のタスクが収録されています。ここでは、タスクの狙いやルールについて解説します。それぞれのタスクは、基本となる3つの分類の力以外にも、必要とされる力が複合的に組み合わさっています。それらの力についても取り上げました。

### 目標・狙いと各タスク

#### ことばに親しみ語彙を増やす

ことばに親しみ、語彙力をつけるには、「はじめのもじ」「ことば」などの言語タスクをなぞなぞやゲーム感覚で楽しめます。これらは、すべて文字と音声の両方で取り組むことができます。

#### 文を理解する力をつける

「ききことば」「わたしはだれ？」といったタスクでは、2語文、3語文と、問題が少しずつ複雑な構造になる仕組みです。繰り返すうちに、自然と文の構造が理解できるよう配慮して設計しました。

#### ことばを聞き取る力を育む

「わたしはだれ？」タスクは、文字と音声がセットとなって出題されるなぞなぞです。聴覚認知の困難な子どもたちのための、聞き取りトレーニングにもご活用いただけます。

#### 数を理解し身につける

「しかくたんさく」では、数をたどっていきます。数唱しながら取り組むことで順序としての数に親しみます。「ブロック」では、積み重なったブロックの数を数えます。量としての数を理解することができます。

#### 空間認識力をアップさせる

日常生活から高度な数学にいたるまで、「見える」力は非常に大切です。「ジャストフィット」では平面のシルエットクイズで2次元の認知力を、「りったいフィット」では3次元の認知力を、それぞれ高めることができます。

#### 遂行機能を強化する

日常生活でだんごりを考え、遂行するには、途中で必要な情報を記憶するワーキングメモリと遂行機能がが必要です。「フラッシュライト」はワーキングメモリを、「さめがめ」は遂行機能をゲーム感覚で鍛えることができます。

#### 感情を制御する力をつける

自分の感情をコントロールしながら行動する力は、日常生活の大切な要素です。「スピードタッチ」「くるま」「もぐらたたき」は、楽しく取り組みながら、自然に抑制力を身につけます。

#### 集中力を高める

「しかくたんさく」「もぐらたたき」「スピードタッチ」の各タスクでは、画面全体の状況に注意を払い、冷静に判断し、正確に操作する力をトレーニングすることで、集中力を高めることができます。

## はじめのめじ

関連する認知機能：語彙の量、音素の抽出、音素の識別

指定された文字で始まる言葉を、選択肢の絵の中から答えます。

課題文にタッチすると、何度でも音声で、指定された文字を聞くことができます。

選択肢を選ぶと、正誤が判定され、同時に、その言葉を音声で聞くことができます。



## わたしはだれ?

関連する認知機能：語彙の質、属性の理解

いくつかの、色や形といった特徴や属性のヒントから、すべての条件にあった選択肢を選びだすタスクです。

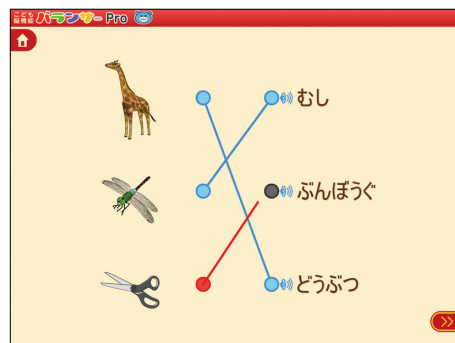


## ことば

関連する認知機能：カテゴリーの理解

左右のグループの中から、それぞれ関連のある言葉や絵を線で結びます。文字にタッチすると、その文字を音声で発音してくれます。

ステージ1と2では、絵とその名称(例:「りんご」とりんごの絵)、ステージ3と4では、絵や名称とそのカテゴリー(例:「りんご」と「くだもの」)を結びつけます。



## ききことば

関連する認知機能：文法、文の構造の理解

課題を聞いて、その意味を理解し、選択肢を選ぶタスクです。

ステージが進むと課題文が二語文、三語文と、文の構造がだんだん複雑になっていきます。

課題文にタッチすると、何度でも音声で課題文を聞くことができます。



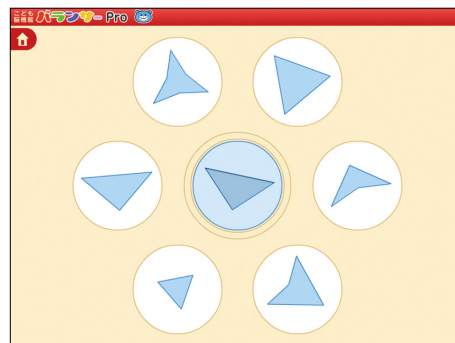
## ジャストフィット

関連する認知機能：**図形（2次元）の形をとらえる力、注意力（形の細部を見分ける力）**

画面の中央の見本とまったく同じ形を、周囲の選択肢から探し出すタスクです。

見本も選択肢も、毎回、ランダムに向きが変わって配置されます。

正しい選択肢を選ぶと、真ん中の見本の上に、カチっとはまります。



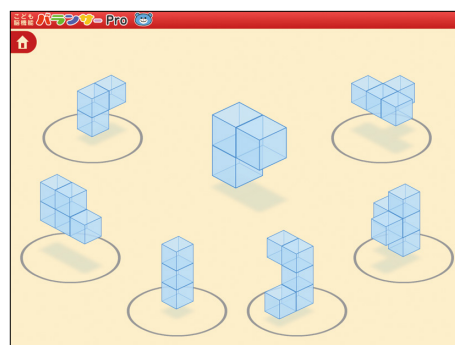
## リったいフィット

関連する認知機能：**図形（3次元）の形をとらえる力、空間認識、視点の移動**

中央の見本のブロックと同じ形を、周囲の選択肢の中から探すタスクです。

見本も選択肢も、ブロックは毎回、ランダムに回転して配置されますので、中央の見本とは向きが異なっています。そして、向きによっては、見えない部分がありますので、その場合は想像して回答します。

ステージが進むたびに、だんだん複雑な形が出題されます。



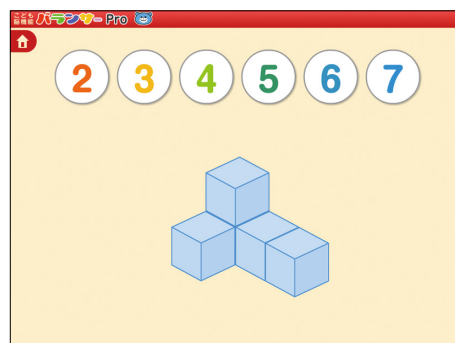
## ブロック

関連する認知機能：**数、空間認識（3次元）、注意力**

積み重なったブロックの数を答えるタスクです。

ブロックの数が増えていくと、他のブロックに重なって、見えないブロックのある場合があります。

答えるには、上の部分の数字が描かれたボタンにタッチします。



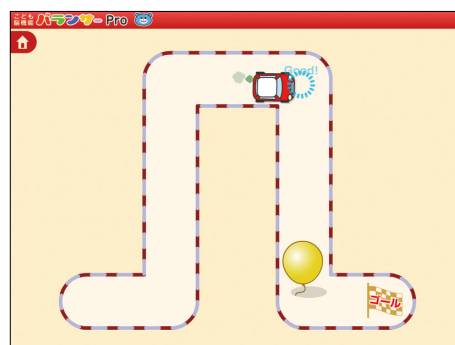
## くるま

関連する認知機能：**身体協応（手と眼の協応）、注意力、抑制力、空間認識（2次元、3次元）**

自動車をスライド（ドラッグ）して、道をはみ出さないように、なるべく早くゴールまでたどり着かせるタスクです。

自動車が触ると、道の上にある風船が割れますから、全部の風船を割りながらゴールを目指します。

自動車の4つのタイヤのうちどれかが道から外れると、「はみ出ている」と判定され、減点されます。



## スピードタッチ

関連する認知機能：**抑制力、注意力、ワーキングメモリ**

画面中央のライトが、指定された色で光ったらできるだけ早くタッチするタスクです。

指定された色以外で光ったら、タッチしてはいけません。

判断に応じて、自分の行動を制御する（がまんする）力を育てるタスクです。

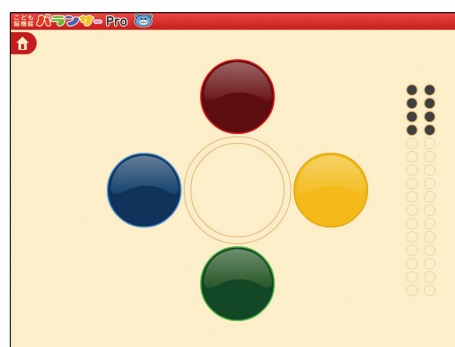


## フラッシュライト

関連する認知機能：**ワーキングメモリ、短期記憶、集中力**

4つの色違いのライトが連続で光ります。その順番を覚えて、順番通りにライトにタッチするタスクです。

クリアすると光るライトの数はひとつずつ増えていきます。



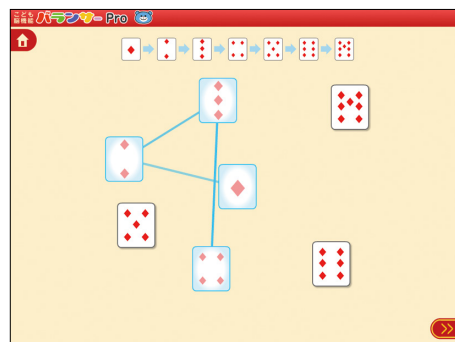
## しかくたんざく

関連する認知機能：**注意力（非運動性注意）、ワーキングメモリ**

トランプの模様が描かれたボタンを、数の順にタッチするタスクです。

ステージ3では、「スペード1」「ハート1」「スペード2」「ハート2」...と、数の順に加えて模様を交互に判断してタッチします。

世界標準の注意力判定テスト、トレイルメイキングテスト（TMT）の子ども版です。



## もぐらたたき

関連する認知機能：**注意力（運動性注意）、抑制力、身体協応（手と眼の協応）**

出現するもぐらをできるだけ早くタッチしていくゲームです。

うまくタッチすると、タッチの度に得られる得点が10点から+10ずつアップしていきます。もぐらの顔を出している時間はだんだん短く、もぐらの出る頻度はだんだん多くなっていきます。

一般的なもぐらたたきと違って、画面のどこに顔を出すかわかりません。サボテンがときどき、同じように顔を出しますが、これにはタッチしてはいけません。

もぐらをたたき損ねたり、サボテンをタッチするとペナルティで、タッチの度に得られる得点は最初の10点に戻ってしまいます。

ペナルティが合計6つになるとゲームオーバーです。



## さめがめ

関連する認知機能：**遂行機能、空間認識、集中力**

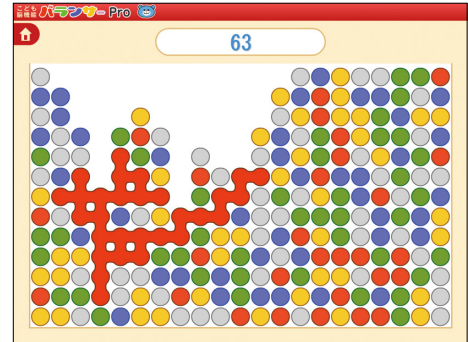
上下か左右で2つ以上隣りあっている同じ色のボールを消していくパズルタスクです。

一度タッチするとボールがつながり、もう一度タッチすると、つながったボールが全て消えます。

同じ色でとなりあうボールがなくなり、ひと組も消すことができなくなった時点で終了です。

一度に消すボールの数が多ければ多いほど高得点が加算されます。最後に残ったボールの数が一定以上少ないと、ボーナス点が加算されます。

このタスクは、スタンプをたくさん集めないと出現しません。



### 脳 balanser キッズ

企画・開発 レデックス株式会社

販売代行 株式会社ネットアーツ

